

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【ガバメントクラウドファンディング】…自治体が問題解決のため、ふるさと納税制度を活用し、具体的なプロジェクトに対し、共感した方々から寄附を募る制度。

【電話リレーサービス】…聴覚や発話に困難のある人と、きこえる人との会話を通訳オペレーターが手話または文

字と音声を通訳することにより電話で即時双方向につながるができるサービス。

【インクルーシブパーク】…障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わずにすべての人が楽しく遊べることを目的とする公園。

【スクールソーシャルワーカー】…福祉の専門性を持ち、

問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関などとの連携・調整を行ったりする人のこと。

【梨の実ルーム】…市内公立小中学校に在籍していて、さまざまな要因で、不登校や不登校傾向にある児童・生徒を対象に学習支援や小集団での活動、相談活動などを行い、学校への復帰に向けた取り組みを行っている場所。

稲城市内の地域公共交通、路線バスの維持・拡充について



岡田 議員

問 市民の暮らし、通勤・通学に欠かせない地域公共交通としての路線バスの重要性についての認識は。

答 市民が鉄道駅や医療・福祉施設、商業施設などに容易にアクセスするために必要な公共交通網の一つだと認識している。

問 市民の暮らしを支える地域公共交通として、市内路線バスを3月以前の便数に戻すことおよび路線バスの維持・拡充を京王バス、小田急バスに求めるべきと考えるが、認識は。

答 路線バス事業者においては、全国的な課題である深刻な運転手不足に伴う要員確保や処遇改善に向け、運賃改定やその他の運転手確保策などの様々な対策を講じていると伺っている。なお、市においては、市民の意見を踏まえ、稲城市地域公共交通会議などにおいて問題提起をしている。

問 路線バスの維持・拡充のため、国・都に支援・補助を求めるべきと考えるが、認識は。

答 国・都に対し、これまでも既に財政支援などを求めてきたが、今回のダイヤ改正に伴う減便については、改善基準告示などを踏まえた運転手などの働き方改革による拘束時間の上限や休憩時間の見直しなどに伴い、現在の運転手の人数ではその配置が十分にできなくなったことなどが要因であり、国や都からの補助金などの財政支援により解消するものではないものと認識している。



▲吉方公園のリニューアルイメージ図

矢野口のまちづくりについて



角田 議員

問 多7・5・3号宿樓戸線、および川崎街道から旧鶴川街道区間の整備状況と今後の予定は。

答 多7・5・3号宿樓戸線は現在、電線共同溝へのケーブル入線工事などを行っている。令和7年度は、電線共同溝からの電力供給に切り替え、歩道の舗装工事を行い、年度末に整備を完了させる予定である。川崎街道から旧鶴川街道区間は、用地取得率が約93%で、一部区間で上下水道及び電線共同溝等地下埋設工事が完了している。今年度は、残りの用地取得に向け権利者との交渉を進め、川崎街道以南の約30メートル区間で道路築造工事に着手し、令和8年中の道路交通開放を目指し取り組んでいく。

問 吉方公園の整備状況と今後の予定は。

答 令和5年度にインクルーシブパークの整備に向け、基本設計を実施した。令和6年度も引き続きワークショップの開催や利用者アンケートによる利用者の意見が反映された遊具選定など、公園詳細設計を行い、令和8年度の工事完了を目指していく。

問 (仮称)矢野口公園の整備計画については。

答 矢野口自治会館と隣接する用地の一体利用を実現させるため、公園予定地の一部との交換を行う方針である。今後は、地域住民の意見を伺いながら、早期に整備着手できるように、関係機関と調整を図っていく。

(仮称)矢野口公園の運用について



土居 議員

問 (仮称)矢野口公園の整備計画は。

答 (仮称)矢野口公園の整備計画については、かねてから地域住民から要望が多かった、矢野口自治会館と隣接する用地の一体利用を実現させる方策として、公園予定地の一部用地と自治会館に隣接する用地との交換を行う方針であり、榎戸土地区画整理事業区域内都市計画施設等検討会、通称「梨の道検討会」をはじめとする地域住民の意見を伺いながら、整備内容を検討し、早期に整備に着手できるように関係機関と調整を図っていく。

問 (仮称)矢野口公園の暫定利用は。

答 暫定利用については、整備完了までに時間を要することから、地域住民からは早期利用の要望をいただいている。このことを踏まえ、公園予定地の一部を暫定整備し、開放することについて検討していく。

稲城市のGIGAスクール構想について



中島 議員

問 授業での基本的なタブレットの活用事例は。

答 学習内容に関する検索、各コンテンツの視聴、学習の記録、作品づくり、調べ学習などの発表、Googleクラウドベースによる学習などがある。

問 「個別最適な学び」に役立てるために、子供たちの学習の習熟度を把握して、児童・生徒一人一人に合った内容とペースで学べる環境を実現するための機能を搭載したソフトなどがあるが、Googleクラウドベースによる学習ではどのような活用ができるのか、どのような機能を使ってどのような学習を行っているのか。

答 Googleクラウドベースによる学習については、例えば授業での基本的なタブレットの活用事例は、Google Classroomを活用して児童・生徒の学習状況を集約したり、児童・生徒の成果物のデータをクラウド上で共有したりすることで、教員が児童・生徒の学習状況を把握し、進捗状況に応じた指導・支援を行っている事例がある。

問 データ蓄積可能なアプリ導入が個別最適化につながるのではないかと考える。市の考えは。

答 学習履歴などのデータが蓄積可能な学習支援・授業支援の有償アプリケーションなどの導入については、現時点では市の予算で購入する予定はないが、引き続き、導入に係る費用対効果を含め、アプリケーション導入による教育的効果などについて研究していく。

民間バスの減便について



岩佐 議員

問 市内の民間路線バスにおいても3月16日より大幅な減便が行われた。市には市民からどのような意見や要望が届いているのか。

答 市にいただいた意見は、「私を利用していた朝の5時・6時台に運行する便がなくなり、利用できなくなった」、「夕方方の運行便数の減少により、電車から路線バスへの乗り継ぎに時間がかかるようになった」などである。

問 増便などの市民からの要望は路線バス事業者に伝えていくとのことだが、例えばバスの役割は路線バスの補完であるので、減便で困っている方の多い民間バス路線をバスで補完するなど、市としてもできる限りの対策をお願いする。また、民

問バスにおいても、できる限り早く増便を要望すると同時に、今回の減便の原因は運転手の慢性的な不足によるもののため、まずは早急な人材確保をしていただきたい。路線バス事業者が運転手確保などにあたり、具体的にどのような対策を講じているのか。

答 路線バス事業者からは、運転手確保にあたり、運賃の値上げなどによって運転手の処遇改善を行い、募集の広告をホームページや新聞折り込みなどで広く周知を図るとともに、採用時に大型自動車第二種運転免許を持つていない方に免許取得の支援制度を設けるなど、採用の枠を広げて運転手確保に努めていると伺っている。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。